

きらり

酒田市農業委員会報 No.46



「実りの秋を願って」 ～本楯地区 刈屋梨の受粉作業～

特集

酒田市農業委員会の委員の候補者募集 (2、3面)

平成29年度酒田市農業委員会活動重点目標、農地中間管理事業 (4面)

農業委員会活動レポート (5面)

キラリな女性 かがやく女性農業者 (6面)

若手農業者リレーエッセー かぜ

農業一筋 短信 (7面)

進む農業の法人化 ー地域での取り組みー (8面)

29年 春季号

酒田市農業委員会の委員の候補者を募集します

受付期間

6月1日～
6月30日

酒田市広報「私の街さかた」4月17日号に折り込みでお知らせしたとおり、「農業委員会等に関する法律」の一部改正により、農業委員会の委員（以下「農業委員」という。）の選出方法が、これまでの公選制から議会の同意を要件とする市長の任命制に改められました。

これにより農業委員の候補者について、以下のとおり募集します。

1 募集方法

- (1) 推薦により応募する方法：個人（3人以上）及び法人又は団体・組織（例えば地区における自治会、JA、生産組合、女性・青年農業者組織など）からの推薦
- (2) 自ら応募する方法

2 募集人数

29人

認定農業者が過半数であること及び農業分野以外の者の意見を反映させるため利害関係を有しない者を1人以上含むこと。

3 任期

平成29年12月1日から平成32年11月30日まで

4 身分

酒田市特別職の非常勤職員

5 主な職務内容

- (1) 農地法等の規定による農地利用に関する許認可業務及び農用地利用集積計画の決定に関すること【毎月の農業委員会総会に出席して審議決定、その他必要に応じた現地調査に関する業務など】
- (2) 農地等の利用の最適化の推進（①担い手への農地集積・集約化 ②耕作放棄地の発生防止・解消 ③新規就農者の参入促進）に関すること【農地のあっせん、農地パトロール、農業者等の相談に関する業務など】
- (3) 農業一般に関する調査及び情報提供に関すること【農業委員会報の発行、農地等の利用の最適化の推進に関する意見書、農作業基準賃金、参考賃借料に関する業務など】
- (4) 農業者年金等の加入推進に関すること

6 農業委員報酬

月額40,000円に、月額20,000円以内で市長が別に定める額を加算した額（市長が別に定める額は、国からの農地利用最適化交付金を財源とします。）

7 応募の資格

農業に関する識見を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関しその職務を適切に行うことができる者。

ただし、次のいずれかに該当する者は除きます。

- (1) 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
- (2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又は受けることがなくなるまでの者

8 募集に係る手続き

応募様式に必要な事項を記入して、この項の(3)に規定する添付書類を添えて、持参により酒田市農業委員会事務局まで提出してください。

なお、募集に係る書類は返却しません。

(1) 応募様式

- ①推薦により応募する場合は、様式第1号「酒田市農業委員会の委員候補者推薦書」
- ②自ら応募する場合は、様式第2号「酒田市農業委員会の委員候補者応募書」

(2) 応募用紙の様式第1号及び様式第2号の入手方法

次の窓口等に備えてあります。

- ①酒田市農業委員会事務局（酒田市役所6階）
- ②酒田市八幡総合支所、松山総合支所、平田総合支所 各建設産業課
- ③酒田市内各コミュニティ（防災）センター
- ④市ホームページ<http://www.city.sakata.lg.jp>によりダウンロードできます。

(3) 添付書類

推薦を受ける者又は自ら応募する者の住民票 1通
（個人のもので、本籍・続柄省略のもの。発行後3か月以内のもの）

9 受付期間等

- (1) 平成29年6月1日(木)から平成29年6月30日(金)まで
- (2) 受付時間は、上記期間内の開庁日の午前8時30分から午後5時15分まで
- (3) 募集人数に満たない等の場合は、受付期間を延長します。その場合は、市ホームページにてお知らせします。

10 募集に係る書類の提出先及び問い合わせ先

〒998-8540 酒田市本町二丁目2番45号
酒田市農業委員会事務局 電話 26-5767

11 農業委員の選任方法

酒田市農業委員会の委員等に関する条例、酒田市農業委員会の委員の候補者の選考等に関する規則に基づき行うものとします。ただし、選任に当たっては、認定農業者が過半数を占めなければならないとともに、農業分野以外の者の意見を反映させるため利害関係を有しない者を1人以上含まなければなりません。

12 その他

募集状況については、募集期間の中間及び終了後に、酒田市農業委員会事務局窓口及びホームページで公表します。

公表内容については、様式第1号「酒田市農業委員会の委員候補者推薦書」及び様式第2号「酒田市農業委員会の委員候補者応募書」の記載事項から住所、生年月日、電話番号及び農業委員活動の希望区域、テーマについての考えを除いたものとなります。

農地等の利用の最適化の推進に向けて

平成29年度酒田市農業委員会活動重点目標を定めました。

農業委員会等に関する法律の一部改正を踏まえ、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規就農者の参入促進という「農地等の利用の最適化の推進」について、より一層取り組んでいくとともに、従来からの取り組みである農業委員会活動の見える化や農業者年金の加入推進等、具体的な取り組みを通して、地域農業の振興に努めていきます。

平成29年度酒田市農業委員会活動 重点目標

1. 酒田市農地集積センターを活用した担い手への農地集積・集約化の促進
 - ・農地の出し手意向と受け手意向のマッチング活動
 - ・酒田市農地集積センター地区会議での農地等の利用の最適化に関する座談会の開催
2. 耕作放棄地の発生防止・解消
 - ・農地利用状況調査員との連携強化（農地パトロール、農地利用意向調査）
 - ・農地の多面的機能維持等に係る地区保全会等との連携・調整
3. 新規就農者の参入促進
 - ・関係機関等と連携、相談調整
4. 農地利用最適化の推進に関する意見書の提出
 - ・農業者等の意見を反映させるため、地域活動、会議への積極的な参加
5. 開かれた農業委員会活動の「見える化」の推進
 - ・農業委員会制度改革の周知
 - ・農業委員会報「きらり」の発行による情報発信
 - ・ホームページ等による活動状況の公表
6. 農業者年金等の加入推進
 - ・取り組み重点地区の設定
 - ・加入推進対策会議及び研修会の実施

農地中間管理事業を活用して

農地の集積・集約をすすめよう

今年度の農地中間管理事業を次のとおり実施します。

申込期間

◆受け手◆

平成29年5月8日(月)～平成30年1月31日(水)

※平成30年から借り受けるためには10月までお申し込みください。
※すでに登録済みの方は継続されますので、再度の申し込みは不要です。

◆出し手◆

申し込みは随時可能ですが、平成30年から貸し付けしたい場合は次のとおりです。

【1回目】平成29年7月末まで

【2回目】平成29年11月末まで

※1回目の申し込み分が平成29年度の協力金対象、2回目の申し込み分が平成30年度の協力金対象となります。

※本事業は、白紙委任となり、貸し付けする相手方を選ぶことは

できません。

申込方法

出し手、受け手ともに、庄内みどり農協各営農課、酒田市袖浦農協、農業委員会事務局へお申し込みください。

各種変更届

すでに契約されたものの各種変更手続きは次のとおりです。

○名義人変更・住所変更

その都度手続きしてください。

○振込口座変更・借賃変更

毎年7月まで手続きしてください。

○貸し付けが不成立となっている農地を農地中間管理事業以外で貸し付けする場合

取下書の提出をお願いします。

※いずれも、庄内みどり農協営農課、酒田市袖浦農協での手続きになります。

活動レポート

酒田市議会建設経済常任委員会委員との意見交換会

1月17日、「夢があり、儲かる農業を目指して」をテーマに、建設経済常任委員会委員と農業委員との意見交換会を行いました。

最初に水稲と園芸に取り組み高橋委員と飯塚将人委員が実践事例と抱負などを紹介。高橋委員は、園芸は今がチャンス、若手の見本となっていきたいと抱負を述べ、今後新たな品目に取り組み意欲と

課題を示し、飯塚

委員は新規作物に

取り組む際の投資や雇用などが課題である等

と発表がありました。

参加した常任委員からは、規模拡大だけでなく、いかにして所得を上げるかが重要等とさまざまな意見が出され、終始活発に意見が交わされました。



群馬県先進地視察

3月2日～3日、農業委員6人が2班に分かれ、群馬県嬬恋村と伊勢崎市へ視察研修に行きました。嬬恋村では、農業者年金の加入推進の取り組みを研修。平成27年度に38人と多くの新規加入があり、通常加入を積極的に呼びかけたことが、成果に結びついたとのこと。伊勢崎市では、法人の雇用の取り組みを研修。都市圏近郊の立地を最大限に活用し、園芸での雇用の事例が紹介され、参考となる研修になりました。

第13回女性の農業委員活動推進シンポジウム

3月9日、第13回女性の農業委員活動推進シンポジウムが東京都で開催され、全国から女性農業委員など、関係者約500人が参加しました。

シンポジウムでは、農林水産省経営局就農・女性課 佐藤一絵課長より「農業委員と農地利用最適化推進委員の女性登用促進に向けて」と題した講演が行われ、農業分野における女性農業者の割合は、ほぼ半数なのに農業委員や農協役員の女性の割合は低い。男性のた



農業者年金受給者説明会

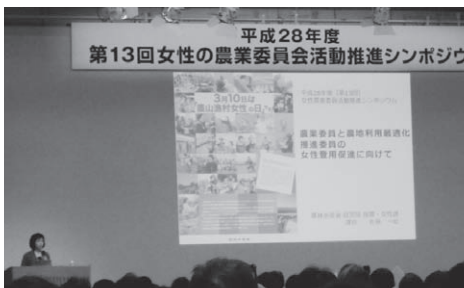
2月16日、農業者年金受給者説明会が希望ホール小ホールで開催されました。

講師に山形県農業会議の農業者年金担当者を迎え、農業者年金の基本的な制度や受給資格、受給に向けての手続きなどのほか、受給開始後の留意点などについて説明がありました。

当日出席した約30人の経営移譲年金等の受給予定者の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。

めにも地域の農業を維持するためにも、女性の活躍が必要ということとを、どうやって男性に理解してもらおうか等の話を聞きました。

その後の意見交換では、女性ならではの視点から積極的な発言が相次ぎ、会場は強く熱い思いに包み込まれていました。



キラリな女性

かがやく
女性農業者

いつも笑顔で

浜 中
奥山 加奈絵

私は農家に嫁いだことをきっかけに就農しました。実家が兼業農家で子どもの頃から手伝いをしてきたこともあり、就農することに抵抗はありませんでした。ところが、嫁ぎ先は大変な大農家で、年中休む暇もなく、朝から晩まで忙しい生活には、正直、何度も挫折しそうになりました。もともと休みがほしいと思うことや、もつと子どもたちと一緒に過ごしたいと思うことが何度もありました。

でも、就農して早10年、今まで続けてこられたのは、やっぱり農作業がすごく楽しかったからだと思えます。野菜の袋詰めは長時間、何か月続いても全く飽きませんし、収穫はワクワクする気持ちでいっ

ばいになります。

また、我が家で営む「おくやまスマイル農園」には同じように子育て中のママさんや女性のおスタッフが多いことや、農家のお嫁さん仲間がたくさんできたことも心の支えとなりました。真夏のハウス内での収穫、真冬の大根洗いなど、暑さ寒さに耐えながらの厳しい作業も数多くあります。それでも、日々一生懸命に務めてくれる良きスタッフと共に、これまでがんばってきました。今日も、「おくやまスマイル農園」という名のもとに、お客様を笑顔にできる野菜作り、スタッフ笑顔で働ける職場作りに励んでいます。自分自身、いつも笑顔でいることを忘れずに。



スマイルメンバーと

かぜ

～若手農業者リレーエッセー～



私は就農して8年目になります。家では主に水稻、大豆、ネギを栽培しています。就農してすぐの頃は、父に言われるがまま手伝わされていきました。その頃は地域との交流も殆ど無く、友人にも農業をしている人はいませんでした。

それが近所の先輩の勧めで農協青年部に入ったところ、地元にもこんなたくさんさんの若い人たちが農業をしているんだと初めて知りました。同世代の農家の人たちと一緒に活動し、過ごす時間は、私にとって新しい風が吹き、ときめく時間でした。今年も支部の支部長をすることになり、今ま

出会いと繋がり

本 橋 佐 藤 秀 憲

で以上に強い責任感を持って地域交流や青年部活動に取り組んでいきたいと思っています。また、これから入って来るであろう未来の後輩のためにも、私は農業に対して実直に誠実に向き合っていきたいと考えています。

私には妻と子どもがいます。子どもが生まれてから気づいたことがあります。それはいつも新鮮でおいしい野菜や米を食べられることのありがたさと、自分の子どもに食べさせるものを身近な人が作ってくれることの安心感です。

自分も作れるようになり、子どもたちにこのありがたさや食育の大切さを伝えていかなければと思うようになりました。これからは安心で安全な品質の高い作物をたくさん生産していきたいと思っています。

今日の自分より明日の自分の方が親として農業者として成長できるように、日々精進していききたいと思っています。

農業一筋

農業委員がおじゃましてお聞きしました!

新堀地区

阿部 勇雄
みさを ご夫妻



水稲とミニトマトを主に手掛けている勇雄さん(73歳)と、みさをさん(73歳)ご夫妻。以前は乳牛も飼育していたそうで「昔は365日休みなし。早く起きての朝仕事が大変だったね」と元氣な笑顔で振り返ります。

乳牛からハウス園芸に移行し、メロンや花卉に取り組んだ後、ミニトマトに落ち着いてきたという阿部さん。9月末まで収穫が続きます。冬はつぼみ菜を作付けしています。「いつも地域の人たちから助けてもらいました。今も声を掛け合い、助け合っています」と地域に支えられてきたことに感謝し、「後継者が農業に取り組み始めて2年目

ですが、周りから助けてもらっています。ありがたいことです」と続けます。

以前は自治会長を務め、今は老人クラブの会長を務めるなど忙しくしている勇雄さん。地域の集まりに出るのが楽しいとい、ご本人の手柄と面倒見の良さが地域の支え合いの要にもなっているようです。

そんなお二人の今の一番の楽しみは、お孫さんが活躍する野球の観戦。合間を見ては見に行っている目と目を細め、「後継者が農業を続けていけるような環境であってほしいね」と農業への期待を笑顔で、そしてしみじみと語ってくれました。

(柿崎一美委員)



短 信

永年の勤続に感謝

4月3日、酒田市の特別職の職員として永年にわたり勤続し、市政の発展に尽くしたとして、柿崎一美委員、荘司太一郎委員、齋藤均委員の3名が、丸山市長から感謝状を贈呈されました。3名とも平成13年に農業委員に就任し、以来現在に至るまで16年にわたり、農地の権利移動や農政全般、地元農業者の相談役として活躍しています。

6月は現況届の提出月です

農業者年金を引き続き受給するためには「農業者年金受給権者現況届」を毎年提出しなければなりません。現況届の用紙は5月下旬に農業者年金基金から直接受給者の方へ送付されます。受け付けは6月1日からです。忘れずに農業委員会事務局または各総合支所へ提出してください。

なお、農業者老齢年金のみ受給の方は、郵送での提出もできます。

農業委員会事務局の新体制

事務局長	藤井 昌道
事務局次長	佐藤まゆみ
農地主査	五十嵐則子
農地主査兼農地係長	遠田 博
農地係調整主任	阿彦 智子
農地係主任	須田 知明
農地係主事	本間 瑛帆
八幡総合支所主事	前田 啓輔
松山総合支所主任	門脇 正博
平田総合支所主事	佐藤 洋子

農事組合法人「里美コスモス」

～松山地区～

代表理事 寒河江 英雄

○名前の由来を教えてください
これから法人名で農産物を出荷販売していく上で、きれいでインパクトのある名前にしたいと考え、美しい里のイメージと地名の小見にちなんで里美。豊かな美しい実りの秋のイメージから秋桜(コスモス)。そんな思いから「里美コスモス」としました。

○経営の内容は

組合員15名(うち役員6名)
経営面積 27畝
主な農産物 米、ソバ、野菜



○設立のきっかけは何ですか
平成22年、当時の集落営農組織で補助事業を活用しコンバインを導入しました。構成員の多くは兼業農家で、これからは大型機械を共同で効率よく使っていくという機運が生まれ、法人化につながったと思います。



○これからの抱負を

水稲の育苗ハウスを活用し、こぶきカボチャ、ホウレン草、ブロッコリー等を栽培していますが、さらに園芸部門を拡大し

なんの野菜の花？



ヒント

- ◇江戸時代に伝わったとされ、その名は持ち込んだ僧侶に由来するといわれています。
- ◇若いさを茹でて和え物などにして食べられています。
- ◇ササゲと混同されることもあります。

答え・サヤインゲン(ササゲ)

また、今は会社勤めをしている構成員が退職した後に、農業に専念して一緒にやっていけることが楽しみです。



編集後記

4月9日、日和山公園の桜が開花したとのニュースがありました。山里の我が家では、雪が解けるとみすみ草(雪割草)が咲き、そうこうしているうちにウグイスの初鳴きが聞こえてきます。本紙が皆さまのお手元に届く頃には、稲田に早苗が輝いているでしょう。雪国に暮らすせいもあってか、一年の中で四季の移り変わりを強く感じるのは春のような気がします。

まったく私ごとで恐縮ですが、昨年還暦を迎え、それに合わせて中学校や高校の同窓会が開かれました。決まってくる話題が、来春には長く勤めた職場の定年退職。一学年、100人ほどの中学校の同級会で農業は私一人「生涯現役です」と言えるのも少数派です。

時はめぐりまた夏が来ては、「青葉城恋唄」。時はめぐりまた春が来て、40回目の田植えに備える日々です。

(ごとう)